

G. 皮膚からの拭い液採取法

皮糸

- 1) きれいな容器(スピッツ管、サンプルチューブ)に2 mlの生理食塩水を入れて下さい。
- 2) 市販の滅菌綿棒で、病変部をよく拭って下さい(図9)。綿棒の先端を生理食塩水で濡らしてから採取すると、採り易いです。
- 3) 綿棒の先を切断し、1)の容器に入れて下さい(図10)。
- 4) 容器の蓋をしっかりと閉めて下さい。輸送中の漏れが心配な場合には、パラフィルム等で密封して下さい。
- 5) 冷蔵で保存して下さい。

図9

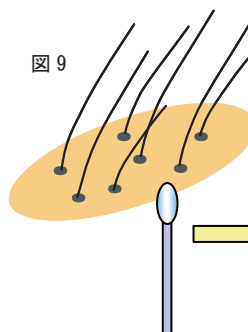
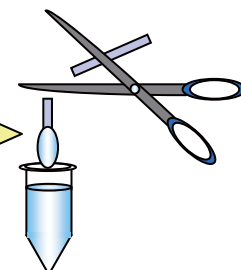


図10

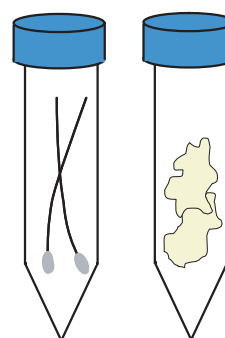


H. 毛・鱗屑の採取法

皮糸

- 1) 病変部の毛・鱗屑をきれいな容器に採取して下さい(図11)。
- 2) 冷蔵で保存して下さい。

図11



注意

症例によっては、拭い液で検出され毛で検出されない、逆に拭い液で検出されずに毛で検出される場合があります。可能ならば、1つの容器にGとHで採取した検体を混ぜて下さい。

クロ	T細胞レセプターγ鎖 + 免疫グロブリンH鎖再構成解析 (T細胞+B細胞クローナリティー解析)
表マ	リンパ球表面マーカー解析 T/Bセット
KIT	c-kit 遺伝子変異検査
MDR1	MDR1 遺伝子変異検査
ヘモ	ヘモプラズマ(ヘモバルトネラ)定性検査
バベ	バベシア・ギブソニ定性検査
PV	イヌ/ネコパルボウイルス定性検査

上気	FHV -1、FCV、ネコクラミジア、マイコプラズマ・フェリス、気管支敗血症菌定性検査
FCoV	ネココロナウイルス(FCoV) 定量 / 定性検査
FIV	ネコ免疫不全ウイルス(FIV) 定量/定性検査
FeLV	ネコ白血病ウイルス(FeLV) 定量/定性検査
FFF	FCoV・FeLV・FIV 定性検査
CDV	イヌジステンパーウイルス(CDV) 定性検査
皮糸	皮膚糸状菌定性検査